

# NIE を通じて世の中に関心を持ち、 自分の意見を伝えることのできる力を身につける

兵庫県立北須磨高等学校 校長 小松原 知子  
教諭 楯川 瑞樹

## 1 はじめに

本校は昭和 47 年、全日制普通科高等学校として開設され、平成 14 年、全日制普通科単位制高等学校に再編された。創立当初より優れた進学実績をあげるとともに、部活動も活発で学習との両立は本校の伝統となっている。普通科単位制に改編後も、この伝統は受け継がれ、現在に至る。

『自ら考え、自ら選び、自ら学ぶ』をモットーに、生徒一人ひとりが、自己を見つめ、仲間と共に進路実現に向けて、個性を大きく伸ばし、学力だけでなく、『生きる力』を育める環境にある。

## 2 実践にあたって

本校は本年度より NIE の指定を受け、6 月から 9 月までは朝日、読売、産経、10 月～翌年 1 月までは神戸、毎日、日経を、各紙発行本社などから合計 8 か月間、無料で提供を受けている。

1 年目にあたる本年度は、まずは現行の教育課程の中で活用できるところを話し合い、新聞を生徒に触れさせ活用することを目標とし、進めていくこととなった。

無理なく進めていくために、1、2 年次での授業に取り入れていく方針となり、2 年次の保健、1 年次の総合学習で実践していく事に決まった。それに加え全学年希望者はいつでも閲覧できる、新聞コーナーの設置場所を図書室前に設定した。具体的な内容は以下のとおりである。

### (1) 新聞コーナーの設置

集会などを通して生徒たちに主旨を説明し、気軽に新聞に親しめる環境を活用してもらうように、装飾や最新の記事などを掲示し、環境の整備に努めた。



図書室前に設置した NIE コーナー



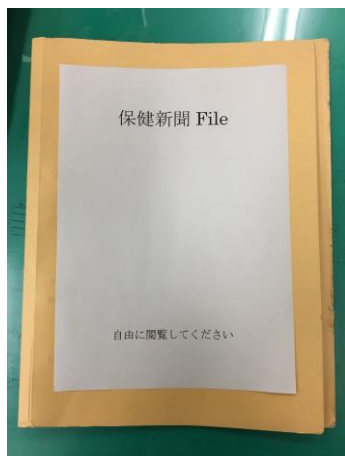
NIE コーナーの掲示物



NIE コーナーを活用する生徒の様子

## (2) 保健の授業での活用

保健の授業の導入部分で、最新の保健情報を生徒に提供。学習意欲の高い生徒が多いため、興味関心を高めることにより、前向きに取り組む生徒が多数おり、新聞を活用し意識を高めることを狙いとして行った。なおその内容がいつでも見返せるように、紹介した記事を教室に置き、いつでも見返せるように工夫した。



④ 新聞記事のファイル

### (3) 総合学習での活用

1年次では、総合学習の時間にディベートを行っており、そこで新聞を活用した。まず、ディベートのビデオを見て、イメージを膨らませ、その後実践の前に調べ学習を行った。ディベートのテーマを決める際に、新聞で最近のニュースを読み、気になる話題をピックアップし、四つのテーマを決めた。今回のテーマは、「移民を受け入れるべきである」、「死刑制度を廃止するべきである」、「動物園を廃止するべきである」、「現在停止中の原発を再稼働するべきである」に決まった。移民のテーマが出たのは、トランプ大統領のニュースが関心を集めている時期であったためであり、単にディベートを実践してみるだけでなく、新聞を読み、ニュースに関心を持ち、自分の意見を考えてみる良い機会となった。

次に、自分たちの立論を考える際に引用資料の一つとして新聞を用いた。対戦は、調べ学習→クラス内対戦→調べ学習→クラス対抗戦という順で行った。クラス内で初めてディベートを行った時には、調べた量や資料の正しさの重要性に気づいていなかったが、1回目の対戦が終わった後それが勝敗を分けることに気がつき、積極的に新聞に目を通し、調査を行っていた。その結果、クラス対抗戦はレベルの高いものとなり、各テーマについて、学年全体で、深めることができた。ディベート活動を終えた後には、世間のニュースに関心を持ち、学校でも休み時間や放課後に新聞を読む生徒が増えた。



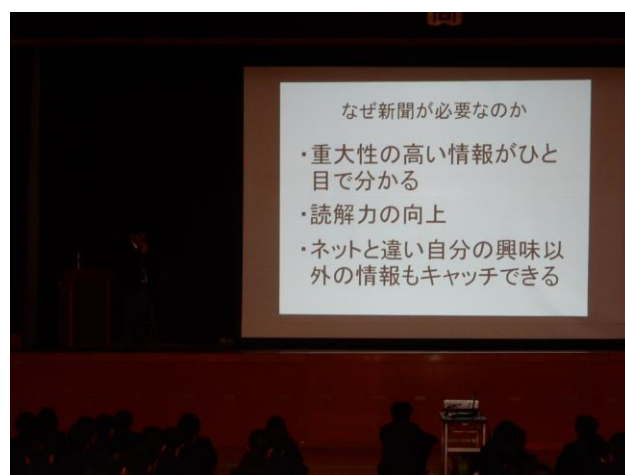
ディベート学習の様子

#### (4) 新聞記者派遣事業

本年度は生徒に興味関心を高めるために、新聞の必要性の話から、主権者教育につなげていく事を目的として依頼した。本校には産経新聞社神戸総局の宮本尚明次長をお招きし、講演会を開いた。新聞社の仕事の内容から、事前アンケートの結果より、本校生徒が新聞への興味関心の低さが表れていたことから、ネットニュース等と比較し、高校生の新聞の必要性を伝えていただけた。



講演会の様子



新聞の必要性について

### 3 成果と課題

#### ・ 成果

当初は日常的に新聞を読む生徒がほとんどいなかったが、新聞コーナーの設置や保健の発表、ディベート活動を通して、世間のニュースに興味を持ち始め、新聞を読む生徒が増えた。また、新聞を読んで情報を入手するだけでなく、様々な活動を通して、自分の意見を持ち、それを相手に伝えるという力も養うことができた。

#### ・ 課題

新聞を読む生徒の数は増加したが、まだまだ活字が苦手で、簡単なインターネットで検索するだけで終わってしまう生徒も多い。正確な情報を入手するために、様々な新聞社の記事を読んだり、生徒同士で話し合ったりすることの重要性をもっと伝える必要がある。また、生徒が新聞に興味を持つようになる活動も積極的に取り入れていくべきである。